

戦後、お子様ランチと父のこと

宇仁妙子（当時、姫路市在住 昭和 26 年生まれ）

1951 年、私の生まれた年、播磨地区にはじめての「デパート」と呼ばれる「ヤマトヤシキ」がオープンした。月に一度、父の仕事で姫路駅前に行く時、いつも帰りに「ヤマトヤシキ」に立ち寄った。何よりの楽しみは 8 階の大食堂でお子様ランチを食べること。食堂の大きな窓からは車や行きかう人が小さく小さく見えた。サクランボと青いソーダ水、そして旗を立てたチキンライスや色鮮やかなゼリー等々。どこから食べようか迷った。屋上には遊具があり、「二つだけだよ」と約束して乗った記憶が・・・。

デパート前の道路は 50m 道路と呼び、親しまれた。その頃の駅前は夜になると屋台が並び、サラリーマンの憩いの場所だった。美食が流行になっている現在、あの頃胸を弾ませて食べた「お子様ランチ」は歳を重ねても私にとっての最高の美食であり、父との大切な思い出である。